

平成23年度 調査船調査計画書

- 1 船 名 俊 鷹 丸 (遠 洋 水 産 研 究 所)
- 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
- 3 調 査 名 新型トロールによるクロマグロ稚魚等の採集のための予備調査
(予定している予算科目名: 国際資源調査委託費、交付金など)
- 4 調 査 期 間 平 成 23 年 4 月 12 日 ~ 平 成 23 年 4 月 15 日 (4 日 間) (航 海 数 : 1 航 海)

5 担当研究所等 遠洋水産研究所 くらまぐろ資源部 太平洋くらまぐろ生物研究室
責任担当者 : 阿部 寧

6 乗船調査員等

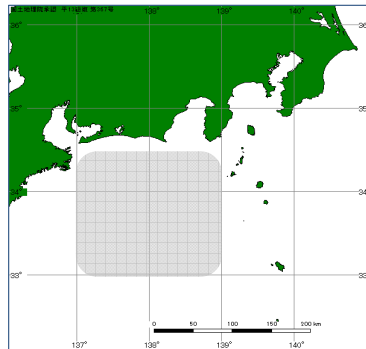
	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	阿部 寧	遠洋水産研究所	4月12日 ~ 4月15日
研究所等職員 :	土井 航	遠洋水産研究所	4月12日 ~ 4月15日
契 約 職 員 :	未定3名	遠洋水産研究所	4月12日 ~ 4月15日
非 常 勤 職 員 :			

7 調 査 目 的 6~7月に南西諸島沖で実施するクロマグロ稚魚の分布調査や9~10月に三陸沖で実施するカジキ・マグロ類の漁場環境調査、10~11月に日本東方沖で実施する混獲生物調査を効率的・効果的に推進するため、これらの調査で使用する新型トロール網の曳網特性に関するデータを収集する。

8 調 査 項 目 ⑤ 漁 獲 調 査 : 表 中 層 ト ロ ー ル (約 5 点)

9 調 査 海 域 駿 河 湾 沖

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
4月12日	清水出港		1	2	1	
4月15日	清水入港					
	合計		1	2	1	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 18 KL

平成23年度 調査船調査計画書

- 1 船 名 俊鷹丸 (遠洋水産研究所)
- 2 総トン数・馬力数 887トン、4000馬力
- 3 調 査 名 太平洋沿岸ミンククジラ目視生態調査
(根拠となる予算科目名:水産庁委託国際資源調査鯨類グループ)
- 4 調 査 期 間 平成23年4月25日～平成23年6月8日 (45日間) (航海数:1航海)
(用船期間)
- 5 担当研究所等 遠洋水産研究所 外洋資源部 鯨類管理研究室
責任担当者 : 木白 俊哉
電 話 : 045-788-7511

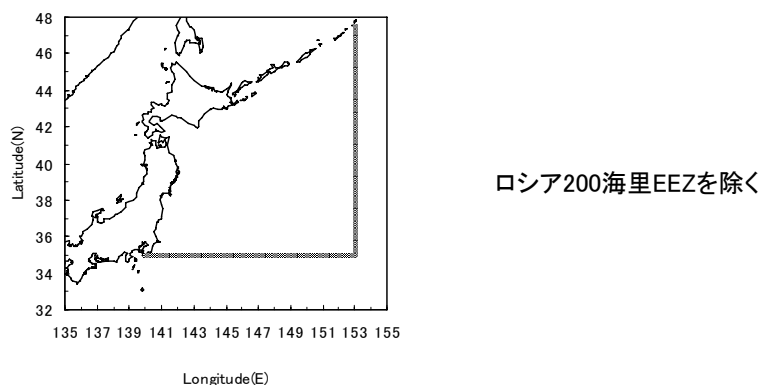
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
(1)研究所職員 :	岩崎俊秀	遠洋水産研究所	4月25日～5月15日
(2)研究所職員 :	金治佑	遠洋水産研究所	5月17日～6月8日
(3)契約職員 :	熊谷佐枝子	水研センター契約職員	4月25日～6月8日
(4)目視専門観察員 :	葛西範彦	水研センター契約職員	4月25日～6月8日
(5)目視専門観察員 :	橋本恭三	水研センター契約職員	4月25日～6月8日
(6)目視専門観察員 :	戎井忠	水研センター契約職員	4月25日～6月8日

7 調 査 目 的 ミンククジラの太平洋沿岸域における資源量推定と移動・回遊に関する情報を得るための衛星標識追跡調査を目的とする。また、大型鯨類の個体識別のための写真撮影を実施する。

- 8 調 査 項 目 ⑦目視調査 : 鯨類の分布調査
⑨その他調査 : 鯨類の衛星追跡調査、鯨類の個体識別調査

9 調 査 海 域 房総から道東の太平洋沿岸沖合い域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
4月25日	清水出港					
4月28日	調査開始		3			
5月15日	横浜入港			18		補給
5月17日	横浜出港	1				
5月19日	調査開始		1			
5月19日	調査開始			20		
6月6日	調査終了					
6月8日	清水入港		2			
	合計	1	6	38		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 KL

平成23年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (遠 洋 水 産 研 究 所)
 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
 3 調 査 名 南西諸島沖におけるクロマグロ稚魚の分布調査
 (予定している予算科目名:国際資源調査委託費、交付金など)

4 調 査 期 間 平成23年6月14日～平成23年7月11日(28日間)(航海数:1航海)

5 担当研究所等 遠洋水産研究所 くらまぐろ資源部 太平洋くらまぐろ生物研究室
 責任担当者 : 阿部 寧

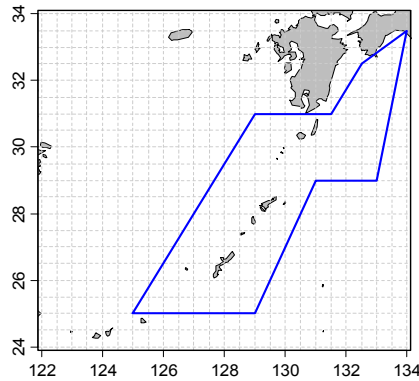
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	未定	中央水産研究所	6月14日～7月11日
研究所等職員 :	土井 航	遠洋水産研究所	6月14日～7月11日
契 約 職 員 :	未定	遠洋水産研究所	6月14日～7月11日
非 常 勤 職 員 :	未定3名		6月14日～7月11日

7 調 査 目 的 南西諸島沖～土佐湾のクロマグロ産卵場～漁場において、稚魚期の分布、移動、成長等の生態知見を収集するとともに、水温、流れ、餌生物などの海洋環境との関係を調べる。

- 8 調 査 項 目
- ① 海 洋 観 測 : CTD観測(約50点、)、ADCP観測
 - ② 基礎生産量調査 : クロロフィル測定(約20点)
 - ③ フラウンクトン調査 : ノルパックネット(約20点)
 - ⑤ 漁 獲 調 査 : 表中層トロール(約50点)

9 調 査 海 域 南西諸島近海～土佐湾

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
6月14日	清水出港		6	21	1	
7月11日	福岡入港					
	合計		6	21	1	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 168 KL

平成23年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (遠 洋 水 産 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 887トン 4000馬力

3 調 査 名 日本海西部海域におけるクロマグロ仔魚の分布調査
(予定している予算科目名: 水産庁委託国際資源調査等推進対策費)

4 調 査 期 間 平成 23 年 7 月 14 日 ~ 平成 23 年 7 月 25 日 (12日間)

5 担当研究所等 日本海区水産研究所 日本海海洋環境部 生物生産研究室
責任担当者 : 森本晴之

6 乗船調査員等

氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 : 森本晴之	日本海区水産研究所	7月14日 ~ 7月25日
研究所等職員 : 井口直樹	日本海区水産研究所	7月14日 ~ 7月25日
契約職員 : 未定(3名)		7月14日 ~ 7月25日

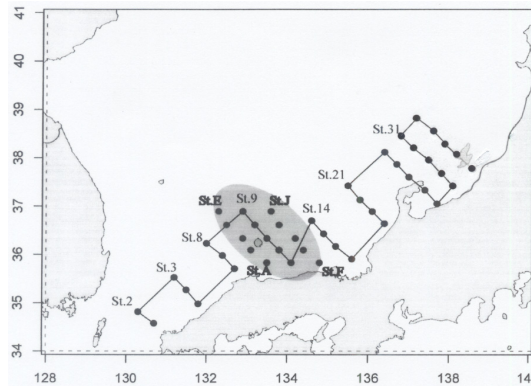
7 調 査 目 的 クロマグロの生活史初期における日本海での産卵・成育場の水平分布の特徴及び仔魚の食性を把握するとともに、仔魚の分布域に関する海洋の物理環境・生物環境データを収集する。これらのデータを解析し、本種の産卵活動と加入に関わる生物特性の解明を目指す。

8 調 査 項 目

- ① 海 洋 観 測 : CTD観測、超音波流向流速計、キャローセル採水
- ③ フラंकトン調査 : 2mリングネット1セット、LNPネット(目合0.335mm, 0.10mm, 0.058mm) 1セット
- ⑨ そ の 他 調 査 : 一般気象・海象観測

9 調 査 海 域 日本海西部海域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
7月14日	博多港出港					調査員乗船
7月14日	調査開始			12		
7月25日	調査終了					
7月25日	新潟港入港					調査員下船
	合計			12		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 67.5 KL

平成23年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (遠 洋 水 産 研 究 所)
 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
 3 調 査 名 日本海におけるクロマグロ仔魚の分布調査
 (予定している予算科目名: 国際資源調査委託費、交付金など)

4 調 査 期 間 平成 23 年 7 月 28 日 ~ 平成 23 年 8 月 11 日 (15日間) (航海数: 1航海)

5 担当研究所等 遠洋水産研究所 くらまぐろ資源部 太平洋くらまぐろ生物研究室
 責任担当者 : 阿部 寧

6 乗船調査員等

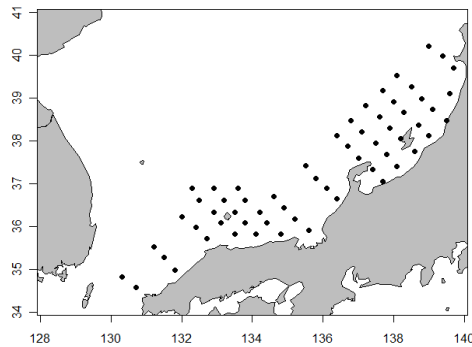
	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	未定	遠洋水産研究所	7月28日 ~ 8月11日
契約職員 :	未定	遠洋水産研究所	7月28日 ~ 8月11日
非常勤職員 :	未定2名	未定	7月28日 ~ 8月11日
	:		
	:		

7 調 査 目 的 クロマグロの夏季産卵場である日本海において、仔魚の水平分布と物理・生物環境に関するデータを収集し、産卵期や産卵場の把握に役立てるとともに、初期生態解明のための基礎知見を蓄積する。

- 8 調 査 項 目
- ① 海洋観測 : CTD観測(約50点、)、ADCP観測
 - ② 基礎生産量調査 : クロロフィル測定(約20点)
 - ③ フラウンクトン調査 : リングネット(約50点)、ノルパックネット(約20点)

9 調 査 海 域 日本海

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
7月28日	新潟出港		3	11		
8月11日	清水入港					
					1	
	合計		3	11	1	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 90 KL

平成23年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (遠 洋 水 産 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力

3 調 査 名 三陸沖カジキ・マグロ類漁場環境調査
(予 定 し て い る 予 算 科 目 名 : 水 産 庁 委 託 国 際 資 源 調 査 熱 帯 性 ま ぐ ろ サ ブ グ ル ー プ)

4 調 査 期 間 平 成 23 年 9 月 2 日 ~ 平 成 23 年 10 月 3 日 (32日間) (航海数:1航海)

5 担当研究所等 遠洋水産研究所 かつお・まぐろ資源部 混獲生物研究室
責任担当者 : 余川 浩太郎

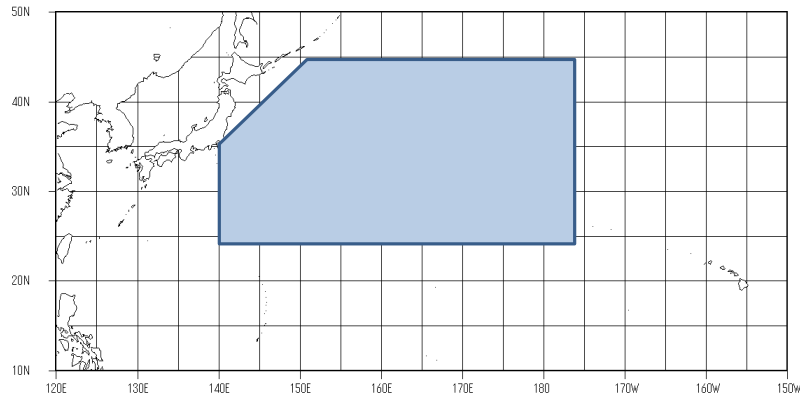
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	余川 浩太郎	遠洋水産研究所	9月2日 ~ 10月3日
契約職員 :	高野 様子	遠洋水産研究所	9月2日 ~ 10月3日
その他 :	未定		9月2日 ~ 10月3日

7 調 査 目 的 はえ縄漁業でカジキ・マグロ類のCPUE解析は、資源解析の基軸となる資源量指数を提供する重要な作業である。現在このCPUE解析は、マグロ・カジキ類の分布が季節、緯度経度及び水深帯によって規定されているという仮定に基づいて行われている。遠洋水研では、これまでの調査によってマグロ・カジキ類が特定の季節と水域においては水深帯によって棲み分けを行っていることを明らかとしてきた。しかし、水平分布に関しては、緯度経度ではなく黒潮や親潮といった水塊で規定されると考えられるが、詳細はほとんどわかっていない。本調査では、マグロ・カジキ類の水平分布を規定する環境要因を調べるために、海洋調査、はえ縄調査、及び餌生物調査を併せて行うことにより、この要因を調べることを目的とする。

- 8 調 査 項 目
- ①海洋観測 : CTD、XBT、XCTD、栄養塩、ADCP、採水、測深による海洋調査
 - ③プランクトン調査 : 中層トロール、ボンゴネットによる餌生物調査
 - ⑤漁獲調査 : はえ縄、中層トロールによる漁獲調査
 - ⑦目視調査 : 鳥群れ、漂流物等の目視

9 調 査 海 域 三陸沖

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
9月2日	清水港出港		14	18		
10月3日	清水港入港					
	合計		14	18		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 240 KL

平成23年度 調査船調査計画書

- 1 船 名 俊 鷹 丸 (遠 洋 水 産 研 究 所)
- 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
- 3 調 査 名 日本東方沖における混獲生物調査
(予定している予算科目名 : 水産庁委託国際資源対策推進事業混獲生物サブグループ)
- 4 調 査 期 間 平成23年10月11日 ~ 平成23年11月11日 (32日間) (航海数:1航海)
- 5 担当研究所等 遠洋水産研究所 熱帯性まぐろ資源部 混獲生物研究室
責任担当者 : 余川浩太郎

6 乗船調査員等

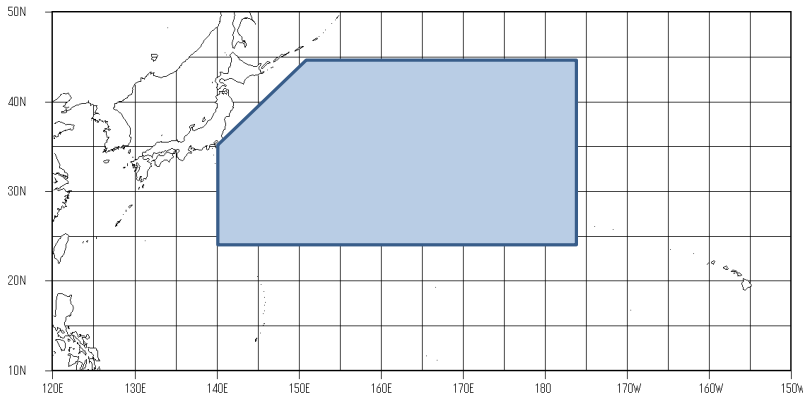
氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 : 南 浩史	遠洋水産研究所	10月11日 ~ 11月11日
契約職員 : 越智 大介	遠洋水産研究所	10月11日 ~ 11月11日
契約職員 : 未定		10月11日 ~ 11月11日
: 未定		10月11日 ~ 11月11日
: 未定		10月11日 ~ 11月11日

7 調 査 目 的
アホウドリ類など海鳥類の混獲回避技術の効果は、海況、海鳥種数、個体数、船サイズなど様々な要因によって異なる可能性があることが中西部太平洋まぐろ条約等で注目されつつある。トリラインなどの回避技術に対する海鳥類の行動や沈降する鉤についた餌を取る行動など混獲発生に関するメカニズムを定量的に評価することが急務となってきた。しかしながら、アホウドリ類の洋上での採餌行動については情報が非常に少ないのが現状である。そこで、本調査ではアホウドリ類が混獲されるプロセスを明らかにするため、投縄時の採餌行動のデータを収集し、混獲回避のための基礎情報を収集することを目的とする。

- 8 調 査 項 目
- ①海洋観測 : CTD、XBT、XCTD、栄養塩、ADCP、採水、測深による海洋調査
 - ③プランクトン調査 : 中層トロール、ボンゴネットによる餌生物調査
 - ⑤漁獲調査 : はえ縄、中層トロールによる漁獲調査
 - ⑦目視調査 : 鳥群れ、漂流物等の目視

9 調 査 海 域 日本東方沖

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
10月11日	清水港出港		14	17	1	
11月11日	清水港入港					
	合計		14	17	1	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 235 KL